

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男)4回戦

試合日:	2014/08/05
開始時刻:	13:20~
会場:	船橋市総合体育館
コート:	Mコート
試合順:	第3試合(男)4回戦

Team A		Team B
東海大四	80	桜 丘
(北海道)		(愛知県)

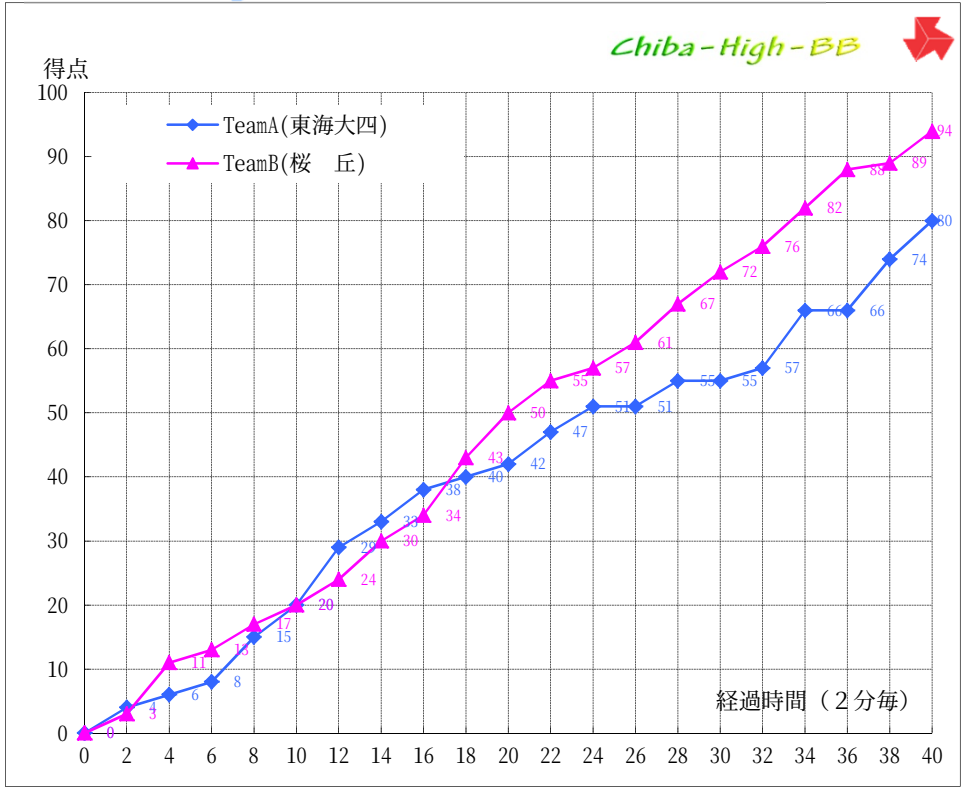
TeamA(東海大四)

No	PT	選 手 名	得点	3P イント 成	2P イント 成	フリースロー 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロック ショット	ターン オーバー
								off	def	計			
4	◎	内田 巨人	38	4	13	0	0	0	3	3	3	0	2
5	◎	白旗 優一	9	1	3	0	4	1	0	1	4	0	3
6	◎	辻 幹也	6	0	3	0	3	1	2	3	3	0	1
7	◎	大内 誠	0	0	0	0	5	2	0	2	0	0	0
8	-	斉藤 俊作	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	○	北川 大騎	11	1	4	0	1	0	1	1	4	0	1
10	○	土井 優斗	2	0	0	2	1	4	1	5	1	1	0
11	-	萩森 成海	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	沖田 優	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	木村 優斗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	◎	長澤 亮太	14	2	4	0	5	2	3	5	0	1	0
15	-	宮崎 哲郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	8	5	13			0
合 計			80	8	27	2	19	18	15	33	15	2	7

TeamB(桜 丘)

No	PT	選 手 名	得点	3P イント 成	2P イント 成	フリースロー 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロック ショット	ターン オーバー
								off	def	計			
4	○	井上 一輝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5	○	佐藤 光貴	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
6	◎	鈴木 空	8	0	2	4	1	0	2	2	1	0	4
7	○	鈴木 靖哉	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0
8	◎	糸 辰弥	2	0	1	0	2	1	5	6	1	0	2
9	◎	高橋 理輝	7	1	2	0	2	0	2	2	17	0	3
10	◎	MBODJ LAMINE	55	0	27	1	2	9	18	27	1	5	5
11	○	中尾 良平	16	1	5	3	1	2	2	4	3	1	2
12	○	井上 涼	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
13	○	横山 遼太郎	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
14	○	内田 匠海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	○	高木 稜梧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	3	5	8			1
合 計			94	2	39	10	11	16	35	51	23	6	17

InterHighSchool 2014 in Chiba 05M3



タイムアウト

	前半(1・2P)のタイムアウト	後半(3・4P)のタイムアウト	延1	延2	延3	延4
TeamA	17:24	19:01	23:03	32:16	35:25	
TeamB	11:43	-	23:39	34:00	-	

【戦評】

ここまで3試合の平均得点が100点を超え、高い攻撃力を誇る東海大四と、下級生中心ながら実力校を破り勝ち上がってきた桜丘の対戦。
試合は両チームハーフコートマンツーマンで開始。第1P、東海大四の#4が次々とアウトサイドシュートを決めるが、桜丘も長身の#10が着実に加算。一進一退の攻防が続く。第2P、東海大四は#4のシュートが冴えわたり、一時7点をリードする。しかし桜丘はここでタイムアウトを取ると、徹底的にゴール下の#10にボールを集め一気に逆転。8点差をつけ前半を終える。第3P、東海大四は2-2-1ゾーンプレスから2-1-2ゾーンヘディフェンスを変更。桜丘のインサイド攻撃を封じにかかるが、#10はそれをものともせず、ゴール下を完全に支配する。東海大四は必死にディフェンスするものの、ファウルがかさみ苦しい展開になっていく。第4P、東海大四は1-2-1-1ゾーンプレスを仕掛け逆転を狙う。しかし疲れからかシュートの精度が落ち、点差を縮めることができない。東海大四は#4を中心に精度の高いシュートで会場を沸かせたが、桜丘の高い壁を越えられず94-80で桜丘が勝利した。

審判	平原 勇次 / 佐藤 匠 /	戦評	久保田 伸司
----	----------------	----	--------

千葉県高体連バスケットボール専門部